

# 議会報告 市民の声を市政にとどける てくテク くらしげ政樹



議会控室(025-226-3450) 事務所:秋葉区田家2-2-19 (TEL・FAX0250-22-1393)



水と土の芸術祭に対する市の負担の在り方について伺います。

ラ・フォル・ジュルネは どうだったか

ラ・フォル・ジュルネの休止が正式に決定されました。先月の地元紙で「来年休止へ財政難、19年以降は未定」との見出しでした。財政難だから、という理由でした。投書欄には休止を惜しむ声が続きました。2015年と2

## 12月議会 水と土の芸術祭2018についての質問

017年のラ・フォル・ジュルネを比べてみました。市の負担金と負担割合は6800万円、66%から4800万円、59%で、負担金額は2000万円減り、負担割合は7%も軽くなっています。総来場者数に占める有料入場者数の割合は17%から28%へと増加。親子で楽しめるとの声を裏付けるように子ども有料入場者数も1100人から1800人と7割増え、また、他県からのオンライン端末チケット購入者は443人から510人、こちらも2割増加しています。市の負担は減り、人は増えています。他県の愛好家と思われる方のアンケートには「ラ・フォル・ジュル

ネの中で新潟が1番好きです。食もおいしくまた来年もきます」とありました。市民の中止を惜しむ声も理解できます。

### 水と土の芸術祭2018 市の負担の減額を

さて、その一方で「水と土の芸術祭2018」については市の負担もそのまま、当初の計画通りの開催とのことです。こちらは2億7千万の費用でそのうちの2億5千万が市の負担ですが、見直すという話は聞きません。

また、観覧料については今回も無料が原則でガイドブ

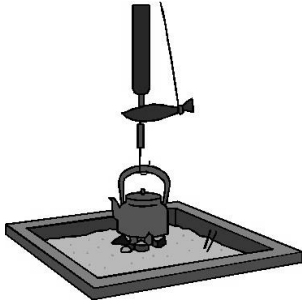


裏面へ続く

生活相談ご希望の方は、ご連絡ください。 携帯(090-2479-5094)  
毎月第3土曜:午前10時~12時 くらしげ政樹事務所 (秋葉区田家2-2-19)  
※必ず事前にお電話ください。事務所にてお待ちいたします。相談料は無料です。

ックを販売し、収支計画では各種販売収入で1000万円を見込んでいますが、総事業費の3.7%に過ぎません。ちなみにラ・フォル・ジュルネの入場料収入の割合は2016年で29%でした。

私は6月議会で「水と土の芸術祭2018」への総事業費に対する市の負担割合が他の文化事業と比べても多すぎる、他の文化事業への負担割合を参考に、見直し、減らすべきだ、と主張しました。その時は決算の見込みについて、財政状況は大変厳しいと述べた直後で、それでも見直しはしない、とのことでした。今議会では来年度の予算編成において119億円も財源が不足する、といい、財政問題も含めてラ・フォル・ジュル



ネは休止となりました。それならば「水と土の芸術祭2018」への市の負担も見直し、減額すべきではないですか。

### 動員数を大きく見せる仕掛け

「財政難でも力注ぐ」と見出しのついた新聞報道に関連して3つ伺います。

・1つ目。協賛金を集めるとのことですが目標額はいくらですか。  
・2つ目。これまでに企業からの申し出はありましたか。

・3つ目。最も人を動員できる主要事業と位置付けるとのことですが、前は77万人の来場者数だと。しかし、アート部門は延べ人数で数えて、つまり一人が4か所まわれば4人と数えて57万人だと。また、これもプロジェクト参加65000人のうち、みずち給食(学校で出された給食のこと)を食べただけの63700人がカウントされ、合計77万人だと。動員数を大きく見せるこのような数え方を今回もするのか伺ってお

きます。

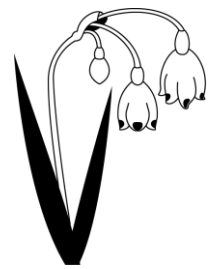
部長答弁「協賛金の目標額については800万円と見込んでいます。

助成金については、今のところ民間の助成団体から1つ内定をいただいていますし、先日、包括連携協定を結びました企業からも協賛金のお話をいただいています。

また、来場者数についてですが、みずち給食の数については、芸術祭の参加者には当然含まれますが、観光の来場者からは除外してカウントするようになりたいと考えています。」

2億5000万円のうちのたった800万円ですか…。やはり(総事業費を)減らすべきだと思いません。

追記 新年度の予算編成において、新潟市は観覧料2700万円を新たに見込んだ計画を追加し、発表しました。予算の勉強会(2月21日)でも取り上げます。



日本共産党は政策で一致する党派、さまざまな団体との統一した力(統一戦線)で、国会で多数派を作り、国会外の運動と結びながら、国民の要求を実現していこうと考えています。

### 日本共産党が現在目指している民主主義革命の方法

民主主義的な変革は、労働者、勤労市民、農漁民、中小企業家、知識人、女性、青年、学生など、独立、民主主義、平和、生活向上を求めるすべての人びとを結集した統一戦線によって、実現される。統一戦線は、反動的党派とたたかいながら、民主的党派、各分野の諸団体、民主的な人びととの共同と団結をかためることによってつくりあげられ、成長・発展する。当面のさしせまった任務にもとづく共同と団結は、世界観や歴史観、宗教的信条の違いをこえて、推進されなければならない。(綱領4・13)